

104-286

問題文

安全性検討事項
【重要な特定されたリスク】
徐脈、心ブロック、洞不全症候群、洞停止、QT 延長、 心室頻拍（torsades de pointes を含む）、心室細動、失神
消化性潰瘍、十二指腸潰瘍穿孔、消化管出血
消化器症状（食欲減退、悪心、嘔吐、下痢等）
パーキンソニズム
心筋梗塞、心不全
肝炎、肝機能障害、黄疸
脳性発作、脳出血、脳血管障害
悪性症候群
横紋筋融解症
呼吸困難
急性膵炎
急性腎不全
血小板減少

- 1. 心機能のモニタリングの必要性を医師に伝える。
- 2. 急性膵炎予防のため、カモスタットメシル酸塩錠の併用を医師に提案する。
- 3. パーキンソニズムが悪化した場合、ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠の増量を医師に提案する。
- 4. 消化性潰瘍予防のため、ランソプラゾール口腔内崩壊錠の投与を医師に提案する。
- 5. 血小板減少の早期発見のため、出血などに注意することを医療従事者間で情報共有する。

解答

問286：1, 2問287：1, 5

解説

問286

パーキンソニズムが現れている点などから、**レビー小体型認知症** と読み取ります。

選択肢 1,2 は妥当な記述です。
レビー小体型認知症に特有の症状が、幻視、パーキンソニズムなどです。レビー小体とはタンパク質の一種です。レビー小体が大脳皮質に広く現れることが原因とされています。

選択肢 3 ですが
「周辺症状」とは、認知症の発症において、個人差が見られる症状のことです。徘徊などが代表例です。一方、原則として全ての人が発症するのが「中核症状」です。物忘れが激しいといった「記憶障害」が代表例です。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが
記述は重症筋無力症についてです。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

記述は ALS（筋萎縮性側索硬化症）についてと考えられます。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問286 の正解は 1,2 です。

問287

選択肢 1 は妥当な記述です。

選択肢 2,4 ですが

それぞれ、急性膵炎予防のため、消化性潰瘍予防のためという用法はありません。よって、選択肢 2,4 は誤りです。

選択肢 3 ですが

パーキンソニズムが悪化した場合は、ドネペジルの「減量」の提案と考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、問287 の正解は 1,5 です。